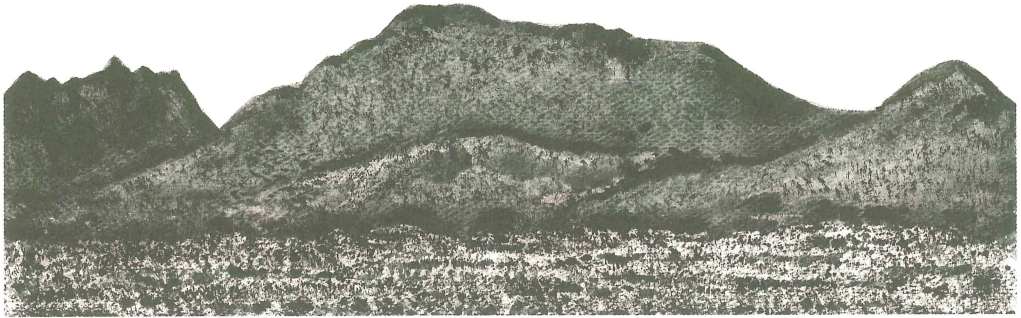


東光原

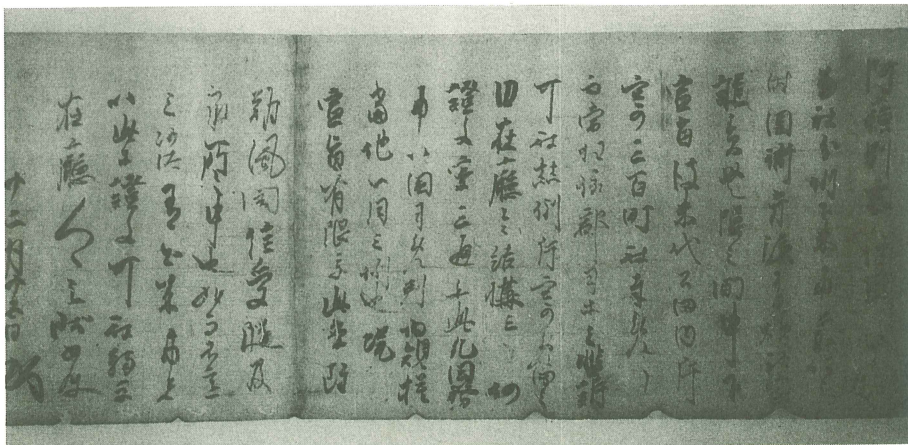
ISSN 0917-7604

熊本大学附属図書館報



Kumamoto University Library Bulletin, No.2, June, 1992

目次	古書店のお茶
	シリーズ熊本大学附属図書館蔵特殊資料紹介
	重要文化財 阿蘇家文書(34巻36冊)
	工学部分室資料 中央図書館へ統合
	電気通信普及財団からの平成3年度分寄贈図書整理を終える
	平成3年度特別図書について
	最近購入した参考図書の中から
	本学教官寄贈著書紹介
	図書館諸統計(平成3年度)
	一飛び2,200kmのILL(Inter-Library Loan)
	湯冷まし



北条時政書下(本学所蔵阿蘇家文書より) 本文に解説

古書店のお茶

中村青史

古書籍収集にかけても第一人者であった徳富蘇峰が、「骨董の説」(明40)という一文の中で、「掘出しの特質は、意外にあり」「人間の愉快は、意外より大なるはなし」と言っている。その蘇峰が「熊本には本を売らない古本屋がある」と言った、その古本屋に学生時代の一年半ばかりを下宿した。それは「意外」のことだったのかどうかは知らないが、とにかく現在なお古本屋さんとの付き合いは続いており、熊本のみでなく東京でも懇意な古本屋さんが数人いる。

古本屋と新本屋との大きな違いは、店頭でお茶が出るか出ないかにある。なじみの古本屋さんでは、大いにお茶の馳走にあずかる。買って買わなくてもである。店の主人とお客は人間関係が濃厚である。のどかな雰囲気がある。先の「本を売らない」というのは、一冊しかない貴重な本は、特定の個人の所有になってしまうと他の人が見れないということである。だが、そんなことが現代のせちからさから追放されるのかも知れない。昔風の古本屋が年々なくなっていくのは寂しい。

「売らない本」と言えば、東京は本郷にペリカン書房という古本屋がある。小さな間口の目立たない店で、よく表のガラス戸が閉まっている。このしゃれた名前は、一時レストランだったのをそのまま使用しているからである。早稲田大学の竹盛天雄先生がそこを紹介して下さったのは、もうかれこれ三十年昔になろうとしている。ペリカン書房の主人の名前は品川力という。本好きの者なら大い知っ

ている。随筆集「古書巡礼」の中に「売らない本」もはいつている。内村鑑三の研究家でもあるが、彼はよく世話の届く人である。東大の明治新聞雑誌文庫の柳生四郎氏を紹介してくれたのも彼である。新刊本でも、地方出版のものや、小さな出版社のものは、一般の新本屋では入手しにくい。品川さんは、そんな本を持っていて分けてくれる。お茶をいただきながら、昨今の古書にまつわる話や、研究者の動向など、耳学問ができるのもまたありがたい。

まだ三省堂の漢和辞典編著作者長沢規矩也先生がお元気の頃だから、これは随分と古い話だが、和服姿の先生の鞆持ちならぬ風呂敷包み持ちで、神田の古本屋巡りをしていたころを思い出す。お茶をいただいたのもその頃がはじめてであったのだろう。そして、「君これ買っときなさい」と言われる。先生にとっては、安い掘り出しものなのだろうが、学生の私にとっては大金であった。が、無理算段して求めたものが、今でも手元に何冊もある。その中で古い国会図書館の目録三冊がある。最近の本の索引には役立たないが、明治・大正期の本を探すときは重宝だった。国会図書館の図書請求票を、ごっそり持ち帰っていて、それに書き込んで行くので目録箱の前での時間が節約できた。近ごろは請求様式が変わってその便利さは失われたが、古びた図書目録は、恩師と古本屋の主人の顔を思い出させて、本棚の隅に埃りをかぶって立っている。

(教育学部教授 国文学)

シリーズ熊本大学附属図書館蔵特殊資料紹介

重要文化財 阿蘇家文書 (34巻36冊)

工藤 敬一



阿蘇家文書は一の宮町の阿蘇神社の旧大宮司家に伝来した古文書で昭和32年(1957)に本学の所蔵するところとなり、昭和62年(1987)国の重要文化財に指定された。内容は鎌倉・南北朝期を中心に、平安末から幕末期におよび、計304通、34巻に成巻されており、その大部が原本である。ちなみに昭和7年(1932)刊行の大日本古文書『阿蘇文書之一』には、「阿蘇家文書」351通を収めている。熊大所蔵分で「阿蘇家文書」に見あたらぬものが8通あるので、熊大に移管されなかった分が55通あることになる。

ところで阿蘇神社は、火山神として、はやくから国家的奉幣を受け、平安末期には肥後一の宮として甲佐・健軍・郡浦こうのうらの三社を末社とし、その勢威は本社領阿蘇荘を中心に広く肥後一国におよんだ。そして、社領も阿蘇・詫麻・益城・宇土・八代の四郡におよび、大宮司阿蘇氏も肥後有数の在地領主(武士団)として発展した。鎌倉幕府が成立すると、北条時政が阿蘇荘をはじめ阿蘇本末社領の預所職を獲得し、大宮司の上に立つことになったことから、鎌倉期の阿蘇家文書には、建久7年(1196)8月1日阿蘇惟次を大宮司に補任

した時政の下文をはじめ、北条氏歴代の発給する文書が多くふくまれることになった。

南北朝期になると、建武政権一南朝も北朝(武家方)も、ともに阿蘇大宮司の勢力をたいへん高く評価し、しきりに所領を寄進し軍勢催促を行なった。これに対し大宮司一族もあるいは南朝方(宮方)あるいは北朝方(武家方)、さらには去就を鮮明にしないものなど、多様な対応を示す。したがって関係文書もきわめて複雑多様で豊富な内容をふくむものを多く遺すことになり、内乱期の九州の政治情況を知る上でもっとも重要な史料群となっている。

さらに南北朝～室町期の分には、本末社領にかかわる土地関係史料が多くふくまれており、神社領や九州荘園の研究上資するところきわめて大きい。また造営・祭事関係史料もすくなくない。

なお、今日の阿蘇家文書には、本来の旧大宮司家以外の権大宮司家等の社家文書もふくまれている。これらは幕末期「阿蘇家伝」の編集の必要から集められたものである。これらの文書とふくめて阿蘇家文書は天保7年(1836)火災のため大半を焼失した。焼け残った文書も、上部や下部を焼失しているものが少なくない。ただ幸いなことに、その前に阿蘇惟馨これかによって転写された副本があつて、それによって今日われわれは阿蘇家文書の全体像をうかがうことができる。本学所蔵の36冊の綴帖冊子がこれである。

以下本号から数回にわたり、阿蘇家文書のなかから注目すべきものを選んで紹介する。

(1) 北条時政書下 (原本写真を表紙に掲載)

〈北条時政書下〉

阿蘇別宮 健軍・甲佐兩社例下米事、(藤原敦綱)前任之時、國衙并濟有煩、社家譴責無隙之間、申下 宣旨 彼米代公田内片寄三百町被奉免了、而當任依郡司等之濫訴、可被顛倒片寄免田之由、在廳令結構云々、仍證文案三通如此、凡國務事、以國司免判為規模、當他一同之例也、況 宣旨有限乎、此条雖難風聞信受、隨及承所令申也、然而不意之沙汰有出来事者、以此證文、可被觸示在廳人々之状如件、

(建久九年) 十二月十五日

(時政) (花押)

〈原文解説〉

阿蘇社および末社の健軍・甲佐の三社は、治承・寿永内乱の以前、国衙から免田分の例下米が与えられていた。しかし源平争乱は国衙機能を麻痺させてしまった。国衙は一たんはそれを一國平均に充てることで解決せんとしたが、事態はかえって悪化してしまった。社家からの強い要求を受けた国衙は朝廷に奏聞して、例下米の代として公田三百町を特定地域かたよせに片寄し、勅院事ならびに大小府国役の賦課と府国使の入勘を停止して不輸の社領とすることを申請し、建久5年(1194)閏8月15日の宣旨にもとづき、翌年2月の国司庁宣により立券された。しかし国司が代った建久9年になると、特に健軍・甲佐兩社分として片寄が行われたましき益城・たくま詫麻郡等の郡司たちの要求で、在庁官人等はこれを顛倒せんとした。阿蘇本末社の預所となっていた北条時政は、

片寄に伴なう証文三通の案文を阿蘇大宮司に送り、免田顛倒の不当なることを主張するよう指示したのが本文書である。

(文学部教授 国史学)



工学部分室資料 中央図書館へ統合

工学部分室は、昭和24年熊本大学の設置以来、黒髪南キャンパスに在って、いくつかの変遷を経ながら分館機能としての役割を果たしてきました。

一方、工学・技術系資料をはじめ図書館資料は年々増加し、その利用ニーズも多岐となり、より効果的な利用者サービスが強く求められるようになりました。

このような状況をクリアするために、工学部分室資料を中央図書館へ統合、集中管理することで、より多くの利用者への迅速な提供など新たなサービスの拡大を図ることとしま

した。

早速、3月24日～27日の間、図書約8,000冊をはじめ工学部分室所蔵の全資料を搬入、4月1日から新たな配架の下でサービスを始めました。

なお、搬入資料のうち、大部分を占める工学・技術系を中心とした自然科学分野の図書は2階第2閲覧室に、その他の図書はそれぞれの分野ごとにNDC順に、また、雑誌は2階雑誌閲覧室に、JIS資料は2階研究者閲覧室にそれぞれ配架しました。

(情報サービス課閲覧係)

電気通信普及財団からの平成3年度分 寄贈図書整理を終える

電気通信普及財団から、社会科学分野を含む電気通信関係図書・文献の購入資金として年額50万円を平成3年度以降5年間寄付されることとなり、各学部から選出された教官で構成する選書委員会において選定作業を進めていただいていることは既に前号で紹介しました。

その後同委員会では、初年度は、同財団よ

り推薦があった図書目録の中から特に人文・社会科学系に重点をおいた選書とすることとし、情報科学分野55冊、通信工学・電気通信関係31冊、情報工学関連15冊、社会科学系12冊等々合計173冊の図書を選定しました。既にその整理も終え学生用図書として配架しています。

(情報管理課受入係)

本学教官寄贈著書紹介

(中央図書館)

黒田正巳名誉教授 (元学長)

「間を描く遠近法」

黒田正巳著 彰国社 1992.2

猪飼隆明教授 (養・歴史学)

「西郷隆盛」 — 西南戦争への道 —

猪飼隆明著 岩波書店 1992.6

(岩波新書 231)

若曾根健治教授 (法・基礎法学)

「比較法史研究の課題」

比較法史学会編 比較法制研究所 1992.3



(情報管理課受入係)

平成3年度特別図書について

特別図書とは、人文・社会科学系の研究科を置く大学院における教育研究に必要な基本的図書資料の整備充実を目的として、本省より配分される事項指定の経費で購入する資料を指します。学内未所蔵の図書資料で、一揃いについて購入価格が10万円を越えるものが選定の対象となります。また、購入した図書資料は共同利用とするため中央図書館又は分館に備えつけることとなっています。平成3年度もこの趣旨に添って次のとおり選定しました。

1. 中国美術史 第3巻, 第6～7巻
2. 向日庵抄物集 上・下巻
3. 日本語の史的研究
4. 初期日本蘭仏独露語文献集 独逸語篇
5. " 和蘭語篇
6. 図書新聞 第1期 第1～9巻, 索引
7. " 第2期 第10～12巻, 索引
8. Actualite Legislatine Dalloz, Vol.1991 No.1-23.
9. Bundesgesetzblatt, Part 1: National Law, Vol.1989, No.9. Vol.1991, No.1-23, 25-35, 37-39, 41-47, 58-68,
10. Bundesgesetzblatt; Part 2 : International Law, Vol.1990 No.26,30. Vol.1991 No.6-35.
11. Columbia Journal of Transnational Law, Vol.28, No.3. Vol.29, No.1-2.
12. Harvard Internation Law Journal, vol.32, No.1-2.
13. House of Commons Division Lists, 1871-1881.
14. NaturalLanguage&Linguistic Theory, Vol.1-7.
15. Halsbury's Statutes of England, 3rd & 4th ed. 4ed, Vol.38. 4ed, Vol.1.(Reissue 1989) 4ed, Vol.12.(Reissue 1989) 4ed, Vol.19.(Reissue 1990) 4ed, Vol.23.(Reissue 1989) 4ed, Vol.24.(Reissue 1989) Suppl. 1989. Con tab ind 1989-1990. Issue No.29 and 34.
16. Federal Tax Regulations, 1990.
17. Internal Revenue Acts, 1989 Pamphlet.
18. Internal Revenue Code, 1990 Bound Vol.1-2.
19. United States Code Annotated, 1990 Pocket Parts.
20. United States Code Annotated:Title 12, Banks and Banking, Sections 1-1750.
21. United States Code Annotated:Title 12, Banks and Banking, Sections 1-1751-End.
22. United States Code Annotated:Title 20, Education, Sec.1-End.
23. United States Code Annotated:Title 22, Foreign Relations Sections.
24. UnitedStatesCodeAnnotated:Title 28 / U.S. Courts of Appeals Rule PT.1-2 1989SP & Jul.Pamphs.
25. United States Code Annotated:1990 General Index.

(情報管課受入係)

最近購入した参考図書の中から

最先端技術用語ベストセレクション

オーム社編 発行・1990

最先端の技術用語をコンピュータ & ネットワーク用語, エレクトロニクス用語, パワーエレクトロニクス用語, メカトロニクス用語, インテリジェントビル用語, ホームエレクトロニクス用語, 新エネルギー & 原子力用語, 高分子系新材料用語に分けて解説。

地球環境キーワード事典

環境庁編 中央法規出版 1990

テーマ篇では, オゾン層の破壊, 温暖化, 酸性雨, 海洋汚染などの主な地球環境問題について, その原因, 影響, 対策を平易な表現で解説。用語篇には, 関連条約や機関名, 会議名などが収められている。

美術・デザイン賞事典

日外アソシエーツ編・発行 1990

美術・デザイン分野における賞・コンクール229賞を収録。各賞の主催者, 趣旨, 選考委員, 選考基準, 初回からの歴代受賞者など, その賞の全容が把握できる「賞名索引」と「受賞者名索引」が巻末に付いている。

新潮日本人名辞典

新潮社 1991

神代(古代)から現代に至るまで, 我国の歴史に名を刻む約18,000人の人名を収録。

特色として・小項目主義の採用・生没年に月日まで記載,

・日本人だけでなく来日外国人や日本と関わりの深い外国人も数多く収録, ・実在の人物だけでなく, 架空・伝承人物も掲載などがあげられる。

巻末に「架空伝承人名索引」「欧文人名索引」「難読人名索引」が付いている。

中国文学歳時記 全7巻

黒川洋一〔ほか〕編 同朋舎出版
1988-1989

中国古典詩による歳時記。春(上・下), 夏, 秋(上・下), 冬, 別巻より成り, 各季節ごとに時候, 天文, 地理, 生活, 行事, 動物, 植物の項目に分類されている。

各巻に詩人索引 別巻には「中国詩史年表」, 「詩人小伝」, 「季語聚花」(索引)などが収められている。

完結 昭和国勢総覧 全4巻

東洋経済出版社編・発行 1991

「昭和国勢総覧」(1980年刊, 全2巻)の改訂版, 昭和63年間の国勢全般にわたるデータを収録, 1,100余種, 数千冊に及び一次資料に基づいて計数的に跡づけた総合統計書。

付録に「行政機構変遷図」「昭和期歴代内閣一覧」あり

中毒ハンドブック 第11版

Robert H.Dreisbach (著)

山村秀夫監訳 廣川書店 1990

毒物中毒の診断と治療法を簡潔に説明, 毒物は, 農薬, 産業, 家庭用品, 薬物, 動植物に分類されている。

全訂 全国市町村名変遷総覧

自治省行政局振興課監修

日本加除出版 1991

市制・町村制施行時から現在に至るまでの市町村名の変遷をもれなく集大成したもの。

「市制町村制施行時における郡・市(区)町村名一覧」, 「市制町村制施行後の郡・市町村変更一覧」, 「新旧市町村対照表」の3項目をそれぞれ都道府県別に掲載。

(情報サービス課参考係)

図書館諸統計（平成3年度）

I 受入統計

①年間受入統計

		中央図書館			医学部分館			薬学部分館			合 計
		購 入	寄贈・その他	小 計	購 入	寄贈・その他	小 計	購 入	寄贈・その他	小 計	
受入 図書冊数	和漢書	11,561	1,658	13,219	958	769	1,727	169	167	336	15,282
	洋書	4,897	3,117	8,014	266	1,474	1,740	46	374	420	10,174
	計	16,458	4,775	21,233	1,224	2,243	3,467	215	541	756	25,456
受入 雑誌数	日本語	1,909	2,517	4,426	186	367	553	46	78	124	5,103
	外国語	1,557	313	1,870	591	111	702	85	1	86	2,658
	計	3,466	2,830	6,296	777	478	1,255	131	79	210	7,761
受入 新聞数	日本語	10	16	26	4	5	9	5	3	8	43
	外国語	3	5	8	1	0	1	0	0	0	9
	計	13	21	34	5	5	10	5	3	8	52

②蔵書累計

図 書		中央図書館	医学部分室	薬学部分館	合 計
		和漢書	606,155	64,659	13,681
洋 書	洋 書	285,838	84,482	15,547	385,867
	計	891,993	149,141	29,228	1,070,362
雑 誌	日本語	9,325	1,666	267	11,258
	外国語	3,204	1,772	257	5,233
	計	12,529	3,438	524	16,491

II 利用統計

①入館者数及び貸出数年間統計

	中央図書館			医学部分館			薬学部分館		
	入館者数		貸出冊数 (図書のみ)	入館者数		貸出冊数 (図書・雑誌)	入館者数		貸出冊数 (図書のみ)
	入館者総数	(内数) 夜間入館者数		入館者総数	(内数) 夜間入館者数		入館者総数	(内数) 夜間入館者数	
平成3年4月	2,493 18,009	3,246	358 1,798	3,546	1,210	1,990	4,921	1,197	66
5月	4,308 29,518	5,723	706 3,325	7,387	2,753	2,184	4,394	1,547	102
6月	3,513 29,740	6,662	592 3,370	8,657	2,942	1,933	5,928	2,153	99
7月	2,850 23,941	2,625	489 2,268	8,366	1,326	1,240	7,084	826	63
8月	1,567 14,239	時間延長なし	183 1,229	5,569	時間延長なし	903	5,383	時間延長なし	32
9月	3,117 37,535	6,189	594 4,071	9,696	1,998	1,052	5,839	2,403	115
10月	3,706 37,303	8,815	640 4,440	12,649	4,990	1,334	7,177	1,152	178
11月	3,193 24,730	6,779	567 3,903	11,099	4,423	1,020	5,140	1,816	128
12月	2,998 24,126	5,864	644 3,949	10,347	3,853	979	4,641	1,813	151
平成4年1月	2,947 30,673	6,404	614 4,900	8,478	2,315	1,129	5,215	1,382	60
2月	3,049 37,078	8,824	701 4,523	12,302	4,854	1,185	6,361	2,198	108
3月	1,604 11,708	3,188	179 2,003	9,218	3,256	875	7,051	2,166	36
計	35,345 318,029	64,319	6,267 39,779	107,314	33,920	15,824	69,134	18,653	1,134

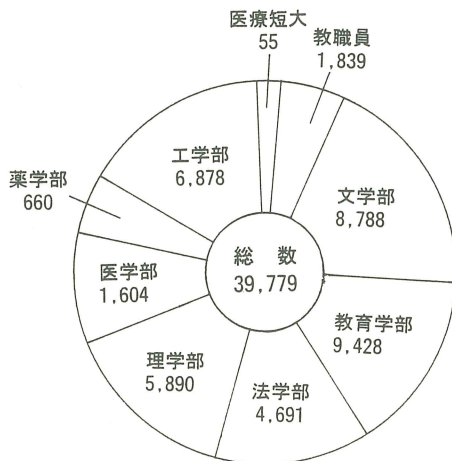
②入館者数及び貸出冊数年次推移

	中央図書館			医学部分館			薬学部分館		
	入館者数		貸出冊数 (図書のみ)	入館者数		貸出冊数 (図書・雑誌)	入館者数		貸出冊数 (図書のみ)
	入館者総数	(内数) 夜間入館者数		入館者総数	(内数) 夜間入館者数		入館者総数	(内数) 夜間入館者数	
昭和62年度	8,376 346,661	62,407	6,715 37,135	75,733	11,981	21,610	41,740	439	
昭和63年度	17,750 323,431	58,317	5,900 37,357	84,145	14,954	21,529	51,348	458	
平成元年度	17,588 329,490	54,820	5,484 38,785	97,925	29,555	21,824	52,314	467	
平成2年度	33,983 302,165	58,960	5,388 36,343	115,763	57,630	20,012	61,173	785	
平成3年度	35,345 318,029	64,319	6,267 39,779	107,314	33,920	15,824	69,134 18,653	1,138	

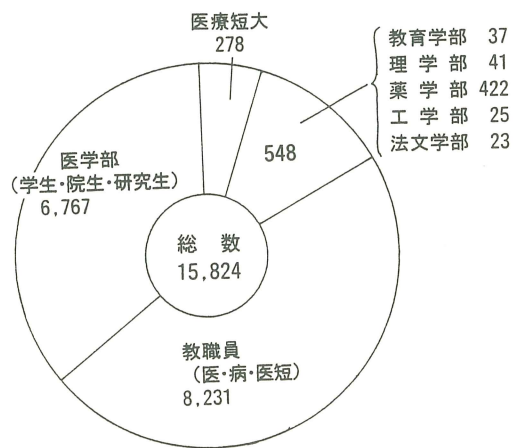
*中央図書館の上段の数字は工学部分室の統計で外数である

③貸出者所属学部別貸出冊数内訳

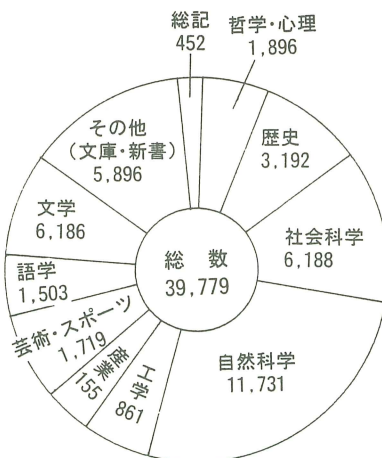
(1) 中央図書館



(2) 医学部分館



④中央図書館分野別貸出冊数内訳



文献複写，相互貸借に関する統計は次号に掲載します。

一飛び2,200kmのILL (Inter-Library Loan)

草野隆夫

図書館の文献複写・相互貸借と云う仕事には引き受ける“受付”とお願いする“依頼”があるが、利用者にとっては“受付”は殆ど関係がないので、ここでは、この4月から稼働したILLシステムを利用した“依頼”の流れについて述べてみたい。学術情報センターの宣伝になってしまうがご勘弁願いたい。

先日A教官から相互貸借を依頼された。検索してみると琉球大、宇都宮大、北海道大等が所蔵していたが、これまでの経験からすると小規模校の方が速い対応が期待出来るので、琉球大、宇都宮大、北海道大の順に依頼した。順に依頼したと云ってもA校に断られたので、BにCにDにとそのつどお願いするのでなく、一度に5校まで順位をつけて依頼出来る制度を使ったまでである。昨年まではA校に断られると、また葉書にタイプしてB校、C、Dと断られる度に最初からやり直して依頼したものである。それが、今年度からはILLシステムを使うと依頼館を5校まで選択できるので、謝絶されても自動的に次ぎの依頼先に転送されるので大変楽になり、依頼者も大変速く文献を入手できるようになった。

先のA教官の場合、5月27日(木)2時にまず琉球大に依頼し、29日(金)4時に西表の研究所に貸出中と云う謝絶があり、自動的に宇都宮大に行き同日5時には研究室使用中で謝絶され、次ぎに北海道大では6月1日(月)10時半に

受信し、2日(火)2時には現物を送ったと云うメッセージを入力し、実際現物は5日(金)に到着した。この間、依頼情報は3館を飛び回り、土曜日曜をはさんで9日間で現物が来ている。もし、北海道大への依頼の順位が1位であったら3日間で現物が到着したであろう。

南の沖縄から北の北海道までまさに一飛びである。去年までのやり方だと、琉球まで郵便で2日、即日返事を出したとして、熊本まで2日、宇都宮まで往復4日、北海道大まで2日と、机上での計算だけでも通信事務に10日かかっていたのが、今年はまだ現物が着いている。依頼を受けた館、受付館の大変な御協力と尽力があればこそであるが、依頼者は大変速く入手出来る様になっている。逆の立場で云えば、受付たら出来るだけ速く対応しなければならぬと云う事である。現物貸借を例にとったが、文献複写も同じ仕組みである。便利になればなる程、図書館側は忙しくなり、同じ給料なら閑な方がよいかもしれないが、利用者の“有難うございました”の一言に和み、良かった今度も頑張ろうと張り切るものである。これからもどしどし図書館を使っていたきたいものである。

個々の大学名をあげて失礼しましたが、分かりやすくと思ってあげさせて貰いました。

(図書館専門員)

湯 冷 ま し

伊 原 信 一

「これお母さんにあげることにする。」

小さな声でつぶやきながら、娘は湯冷ましを妻の棺に入れた。上の娘が妻の誕生日に贈ったものである。萩焼ふうの安価なものではあったが、小学生の娘にとっては熟慮のすえの散財であった。

妻は薄紅梅の和服を着て眠るように横たわっている。

つい昨日まで妻は元気であった。

「バイバイ、ちょっと行って来るからね。」子供たちに向かって肩のあたりで軽く手を振り、微笑んだ。子供たちは妻の方がちらりと目をやると再びゲーム版に熱中した。明日は遠足で、そのうえお祖父ちゃんに来ていて、子供たちにとっては申し分のない夕べの一時ではあった。そして妻は子供たちの遠足の準備をするために私を助手席に乗せて出かけ、そのまま世を去った。私はただただうろたえた。平成四年四月十九日寂、享年三十九歳であった。

妻は茶毘にふされたが、心を込めて納めた品々も、そして妻までも、何もかも形を変えてしまった中に、変らぬ姿の湯冷ましは、前よりもほんの少し赤味を帯びてずっと輝いていた。それは妻から娘たちへの贈り物のように見えた。私は熱くて熱くて包んだ布切れを

焦がしてしまったほど熱いその贈り物を、真新しいハンカチで丁寧にくるみ、遺骨とともに抱いて我が家へ帰った。幼い娘たちは怖がりもせず、厭いもしなかった。

月があらたまると、あたりまえのことながら、母を亡くしたばかりの子供達にも母の日はやって来た。

「今年の母の日はプレゼントができないね。」

あっさりした娘の問い掛けに、私はむしろむねを突かれた。

「去年と同じように、母さんの好きなものをあげるといい。」

「でも、もういないのに」

「お供えすればいいんだから同じことだよ。」

すこし眉をよせて娘は考え込んだ。

翌日、娘は母の日に一日遅れて、一對の湯飲みを買ってきた。一つは私に、一つは妻に贈られた。娘たちは湯冷しにお茶を入れ、湯飲みには御飯をよそい、妻に供えた。前より赤味を帯びた湯冷ましは、今日も小振りの湯飲みを従えて庭の緑に振り注ぐ初夏の光を写している。

(文学部助教授 国語学)

熊本大学附属図書館委員会委員名簿

平成4.4.1現在

学部等	職名	氏名	任期
	館長	黒羽 啓明	3.5.16~5.5.15
文学部	助教授	伊原 信一	4.4.1~6.3.31
教育学部	教授	中村 青史	"
法学部	"	若曾根健治	"
理学部	"	實政 勲	"
医学部	"	吉永 秀	3.4.1~5.3.31
薬学部	"	國枝 武久	"
工学部	"	平井 一男	"
教養部	助教授	蘆田 徹郎	4.4.1~6.3.31
医療短大部	教授	佛坂 博正	"

日誌(平成4.1.1~4.30)

1. 8 附属図書館係長会議
- " 図書館報編集委員会
1. 17 資料保存に関する調査研究班WG会議 (於九州大学)
1. 21 古典籍研修会
1. 31 ILLシステム全国説明会 (於九州大学)
2. 4 附属図書館係長会議
- " 古典籍研修会
2. 18 古典籍研修会
3. 3 附属図書館係長会議
- " 古典籍研修会
3. 24 工学部分室の中央図書館への統合作業
~27 業
- " 雑誌書庫の再配置作業
3. 26 九州地区大学図書館協議会に関する熊本地区事務打合せ会議
4. 1 ILLシステム運用開始
4. 7 附属図書館係長会議
4. 21 附属図書館委員会
4. 22 資料保存に関する調査研究班WG会議 (於九州大学)
4. 23 第22回九州地区国立大学附属図書館協議会 (於福岡市)
4. 24 第43回九州地区大学図書館協議会総会 (於福岡市)

人事異動

平成4.4.1琉球大学学生部次長

- 古閑 義信
附属図書館事務部長へ配置換
- 同 情報サービス課参考係長
草野 隆夫
情報サービス課図書館専門員へ昇任
(参考係長を併任)
- 同 情報管理課総務係総務主任
濱崎 清江
理学部庶務係学科事務担当主任へ配置換
- 同 理学部庶務係学科事務担当主任
山本 敦子
情報管理課総務係総務主任へ配置換
- 同 情報サービス課閲覧係
楠本 昌代
医療技術短期大学部会計係へ配置換
- 同 医療技術短期大学部会計係
北野 典子
情報サービス課参考係へ配置換
- 同 情報サービス課閲覧係
樋口 文子
情報サービス課学術雑誌係へ配置換
- 同 情報サービス課閲覧係に採用
森永 智子

平成4.3.31附属図書館事務部長

- 竹熊 武久
定年退職
- 同 情報管理課図書館専門員
川口 恭子
定年退職
- 同 情報サービス課閲覧係
内田 富子
退職

東光原一熊本大学附属図書館報一第2号

平成4年6月

編集発行 熊本大学附属図書館

〒860 熊本市黒髪2丁目40番1号 ☎096(344)2111